



事業計画及び成長可能性 に関する事項

株式会社アドバンスト・メディア

2023年6月30日



会社概要



設立	1997年12月10日
資本金	69億3,031万円
発行株式数	18,392,724株
上場市場	東京証券取引所グロース市場（3773）
所在地	<ul style="list-style-type: none">■ 本社 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 42F■ 大阪支社 大阪府大阪市中央区瓦町2-3-10 瓦町中央ビル 2 F■ 札幌営業所 北海道札幌市中央区大通西15-1-11 北日ビル第2大通 4階405号■ 名古屋営業所 愛知県名古屋市東区葵1-25-1 ニッシンビル302■ 福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅南4-2-10 南近代ビル 5 F
代表	代表取締役会長兼社長 鈴木清幸
従業員数	社員数 単体：213名（平均年齢38.2歳） 連結：241名



Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

“HCIの実現”

H=Human

C=Communication

I=Integration

アドバンスト・メディアは、
「キカイ」との自然なコミュニケーションを
実現し、豊かな未来を創造します。

AmiVoice BRAND MESSAGE

BRAND MESSAGE

音声認識で
つくりたい
未来へ

もしも、人とキカイが
自然な会話でつながる未来を
実現できるなら。

AI音声認識 国内シェアNo.1の
「AmiVoice®」があれば、
そんな楽しい世界だって、
きっと夢ではありません。

音声認識の力で、
ワクワクできる未来をあたりまえに。
私たちは、アドバンスト・メディアです。

AI音声認識 国内シェアNo.1*

AmiVoice®



1. ビジネスモデル



Advanced Media, Inc.



事業の内容

当社グループ（当社および当社の関係会社）は、当社（株式会社アドバンスト・メディア）と連結子会社2社、非連結子会社1社、持分法適用会社1社により構成されており、事業セグメントは、音声事業の単一セグメントであります。

音声事業

- ① **AmiVoice®** を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「**ソリューション事業**」
- ② **AmiVoice®** を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「**プロダクト事業**」
- ③ 企業内のユーザーや一般消費者へ **AmiVoice®** をサービス利用の形で提供する「**サービス事業**」

なお、音声事業の単一セグメントは、**既存コアビジネスをBSR1（第一の成長エンジン）**、新規ビジネスの創生、M&A、海外事業を**BSR2（第二の成長エンジン）**と定義し、8のプロフィットユニットで構成されております。

第一の成長エンジン（既存コアビジネス）

当社のCTI事業部、VoXT事業部、医療事業部、SDX事業部の4つのプロフィットユニットで構成をしております。

第二の成長エンジン（新規ビジネスの創生、M&A、海外事業）

当社の海外事業部、BDC本部（旧ビジネス開発センター）、および連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD.（タイ王国）、株式会社速記センターつくばの4つのプロフィットユニットで構成をしております。

注) 事業部名称の語源は次のとおりです。
CTI: Computer Telephony Integration
VoXT: Voice Texting
STF: Speech Transformation
BDC: Business Development Center

製品・サービス内容①

	主な製品・サービス	主な顧客	サービス内容
B S R 1	CTI事業部	AmiVoice Communication Suite AmiVoice CQM Assist AmiVoice TextStream	コンタクトセンター 通話の全文リアルタイムテキスト化、管理者による複数通話同時モニタリング、感情解析などで応対品質向上を支援
	VoXT事業部	AmiVoice ScribeAssist ProVoXT CyberScribe	地方自治体、 各種民間企業 会議や講演の音声を自動テキスト化し、自治体・民間企業のRPA化を促進する音声認識文字起こしサービスを提供
	医療事業部	AmiVoice Ex7 AmiVoice CLx AmiVoice iNote	病院、診療所、 放射線科、調剤薬局 電子カルテや読影レポートなど、各種医療文書の作成を音声認識で効率化し、医療現場の働き方改革に貢献
	SDX事業部	AmiVoice Cloud Platform AmiVoice Keyboard AmiVoice SF-CMS AmiVoice VK※ AmiVoice VM※ AmiVoice UPV※	製造・物流・金融・ 製薬等、各種民間 企業 音声認識機能をWebサイトやアプリケーションに実装するためのAPI開発ツール 顧客のDX化を促進するスピーチDX関連製品として、キーボードやマウス操作の効率化に資するアプリケーション ※新製品

製品・サービス内容②

		主な製品・サービス	主な顧客	サービス内容
B S R 2 連 結 子 会 社	海外事業部	台湾、中国向け Cloud Platform	アジア圏の企業	台湾・香港・中国企業向け、音声認識APIの提供
	BDC本部	AmiVoice スーパーインス ペクションプラットフォーム	建設・不動産業	建設現場における検査結果をはじめ、建築工程管理 を支援する音声認識ソリューションを提供
	AMIVOICE THAI	タイ語版 AmiVoice Communication Suite	タイ現地の コンタクトセンター	自社開発のタイ語音声認識エンジンを活かした音声 認識IVRや、コンタクトセンター向けソリューションをタイ 全土に提供
	速記センター つくば	書き起こし・議事録作成業務	地方自治体、裁判 所	自治体を中心に会議議事録作成を受託し、音声の 書き起こし業務を提供

主要な製品・サービスの紹介①

AmiVoice® Communication Suite (CTI事業部)



コンタクトセンター向けAI音声認識ソリューション

豊富な機能でコールセンター業務を強力にサポートし、応対品質向上・顧客満足度向上・業務効率化・売上向上など、コンタクトセンターの課題を解決します。各業界に特化した高精度な音声認識エンジンをベースに企業それぞれのニーズに合わせて柔軟にカスタマイズすることも可能です。



AmiVoice® ScribeAssist (VoXT事業部)



AI音声認識 文字起こし支援アプリケーション

Web会議や商談、会見等、対面・非対面の幅広いシーンで利用できるスタンドアロン型文字起こし支援アプリケーションです。会議をしながら文字化・記録するリアルタイム認識と、録音データを文字化するバッチ認識、どちらにも対応しています。Zoomと連携して認識結果を字幕表示することも可能です。



AmiVoice® Ex7 (医療事業部)



話したら、即、入力。医療現場の記録をスピード作成

AmiVoice Ex7はマイクで話すだけで文章が作成できるソフトウェアです。医療の現場で必要とされる電子カルテへの入力、服薬指導や読影レポートの作成から診療情報提供書の準備まで、PCで行う様々な文章入力の負担を軽減します。



主要な製品・サービスの紹介②

AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム (BDC本部)



建築検査用の音声入力アプリ。AIが業者を自動振分け！

建築仕上げ検査、配筋検査、安全パトロール、内覧会用などの音声入力アプリ。指摘事項を発話して検査結果入力完了。AIが協力会社を自動振り分けし仕分け作業不要です。すでに100社以上でご利用いただいています。

AmiVoice® Cloud Platform (SDX事業部)

音声認識API・SDK を提供する開発プラットフォーム

AmiVoice 音声認識API・SDKの活用により、クライアントアプリケーションに特別なライブラリを組み込む事なく、音声認識機能を実装できます。音声文字化や音声対話、音声制御、音声翻訳等、アプリケーション、Webサイト等の各種サービスにご使用いただけます。

開発者向け

シェアNo.1の音声認識エンジンを
API・SDKで提供する

AmiVoice® Cloud Platform



AmiVoice API

AmiVoice SDK

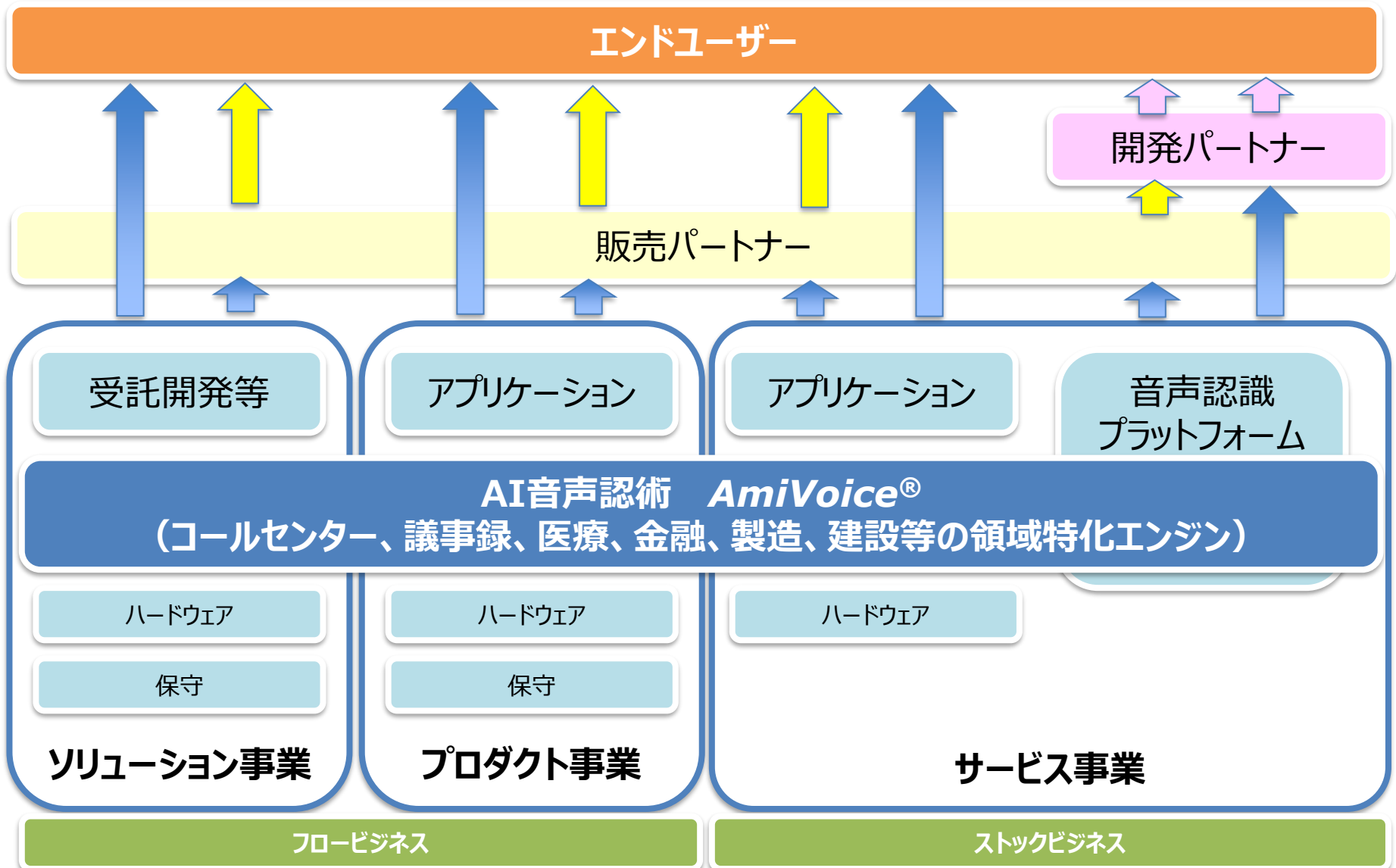
AmiVoice® Front WT01 (Bluetoothマイク)



AmiVoice® Front ST01 (スタンドマイク)



ビジネスモデル



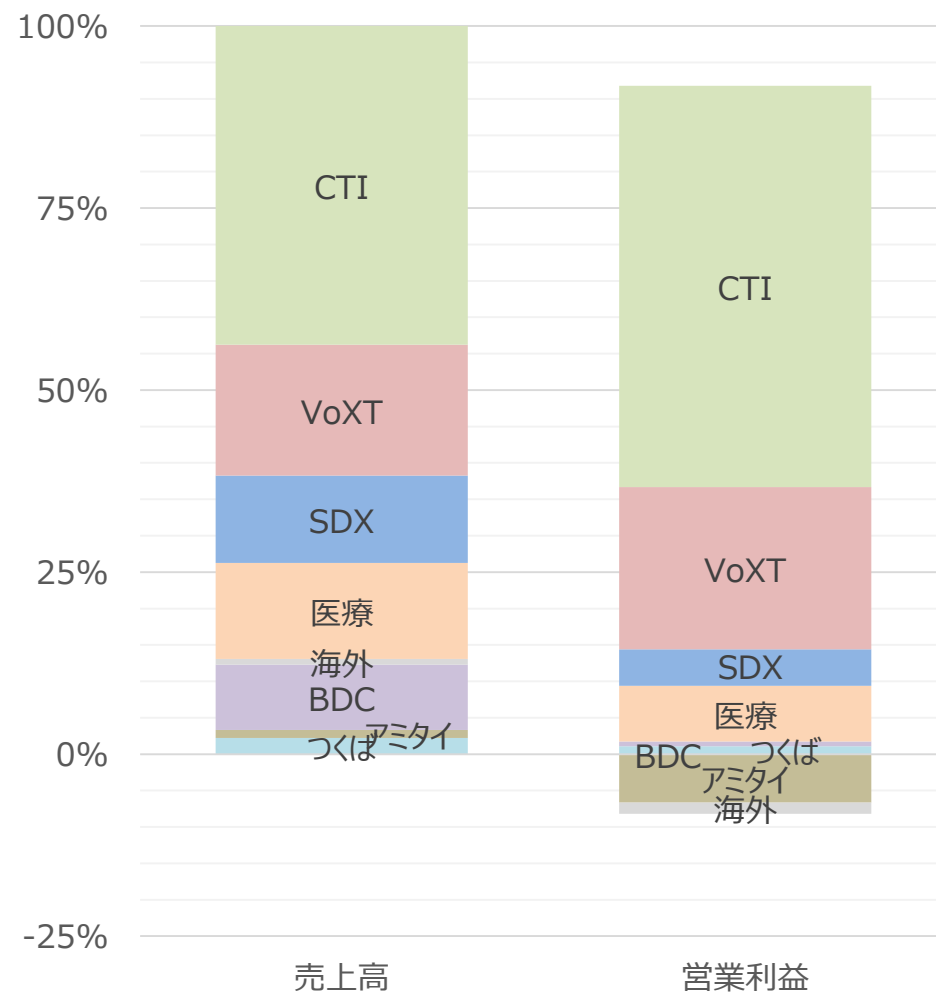
分野別の実績（2023年3月期）

売上高

単位：百万円

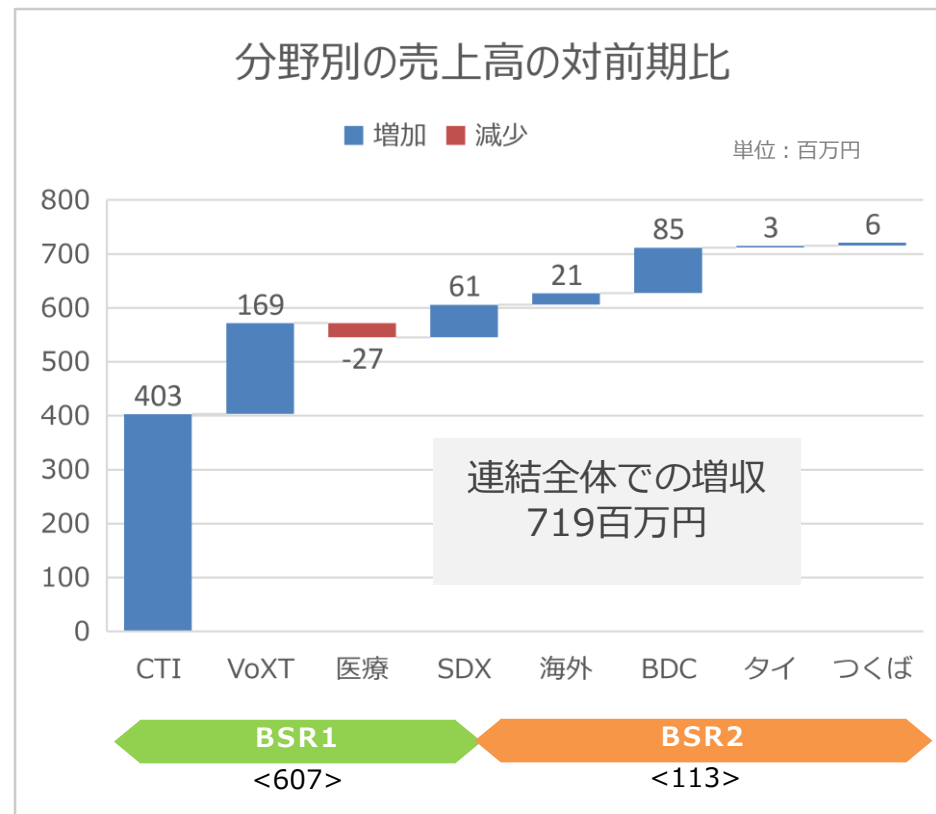
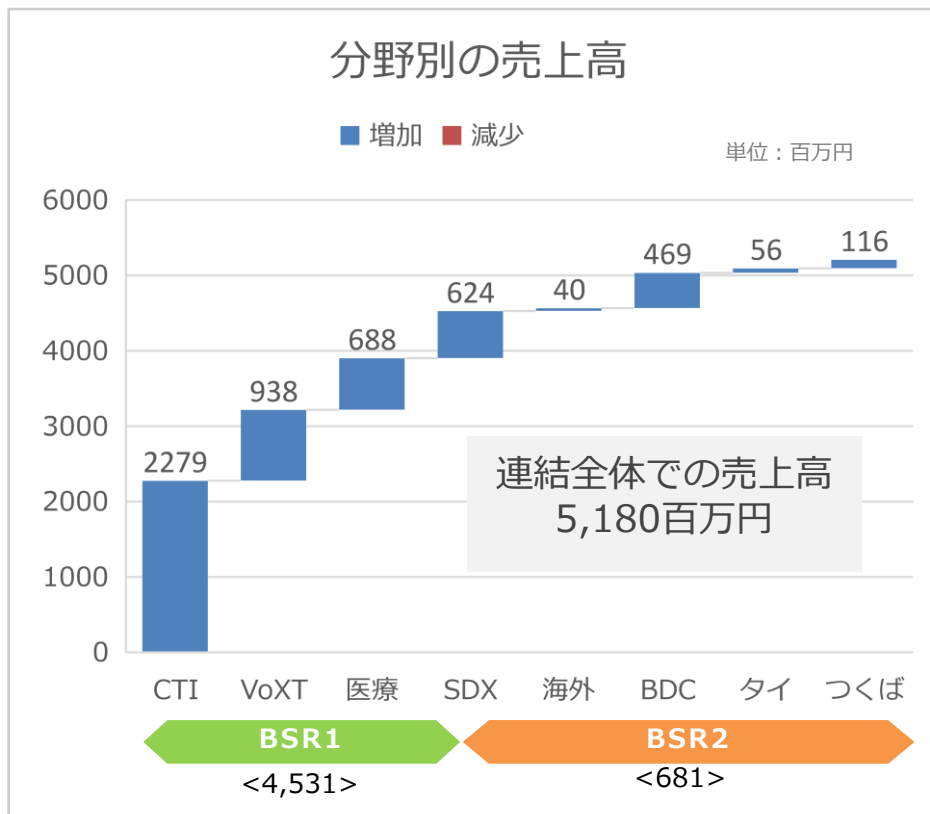
		2023年3月期	
BSR1	CTI事業部	2,279	44.0%
	VoXT事業部	938	18.1%
	医療事業部	688	13.3%
	SDX事業部	624	12.0%
	合計	4,531	87.5%
BSR2	海外事業部	40	0.8%
	ビジネス開発センター	469	9.1%
	連結子会社 AMIVOICE THAI	56	1.1%
	速記センターつくば	116	2.2%
	合計	681	13.1%
連結調整		-35	-0.7%
合計		5,180	100.0%

構成比



2023年3月期売上高の分析

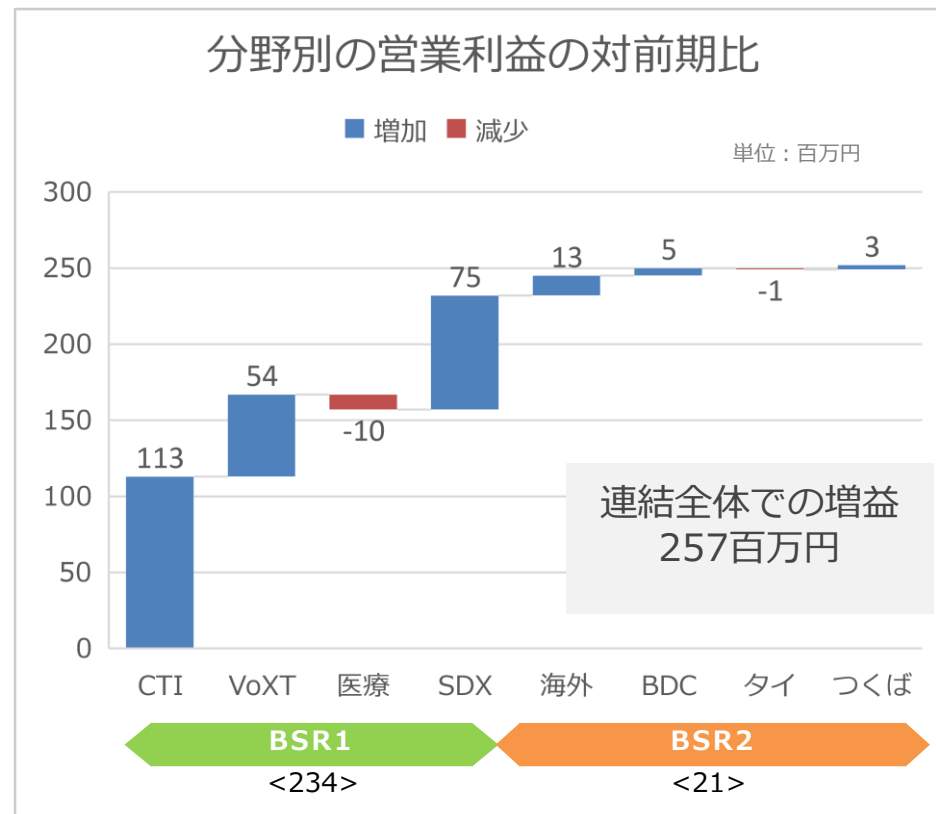
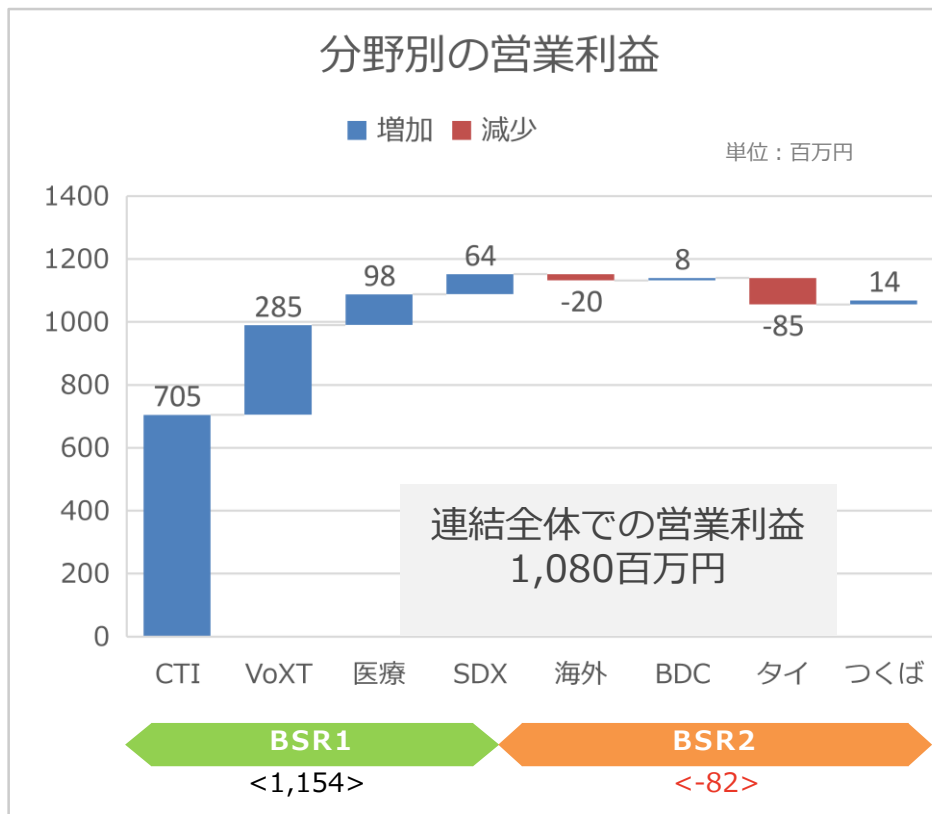
注) 連結調整前



BSR1 (第一の成長エンジン) CTI事業部及びVoXT事業部が増収し前期比15.5%の増収
BSR2 (第二の成長エンジン) ビジネス開発センターが増収し前期比19.9%の増収
当社グループ全体では、前期比16.1%の増収で過去最高の売上高

2023年3月期営業利益の分析

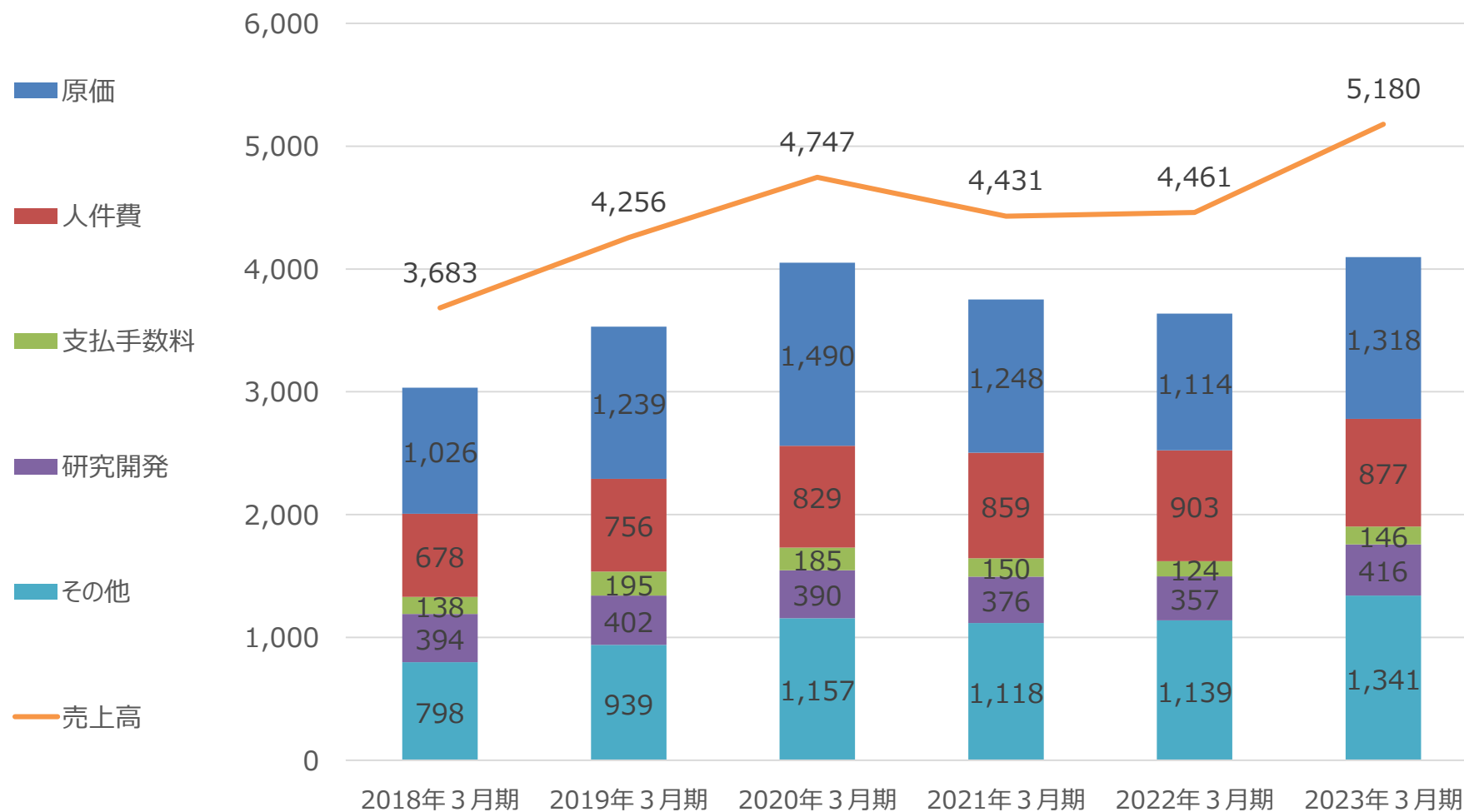
注) 連結調整前



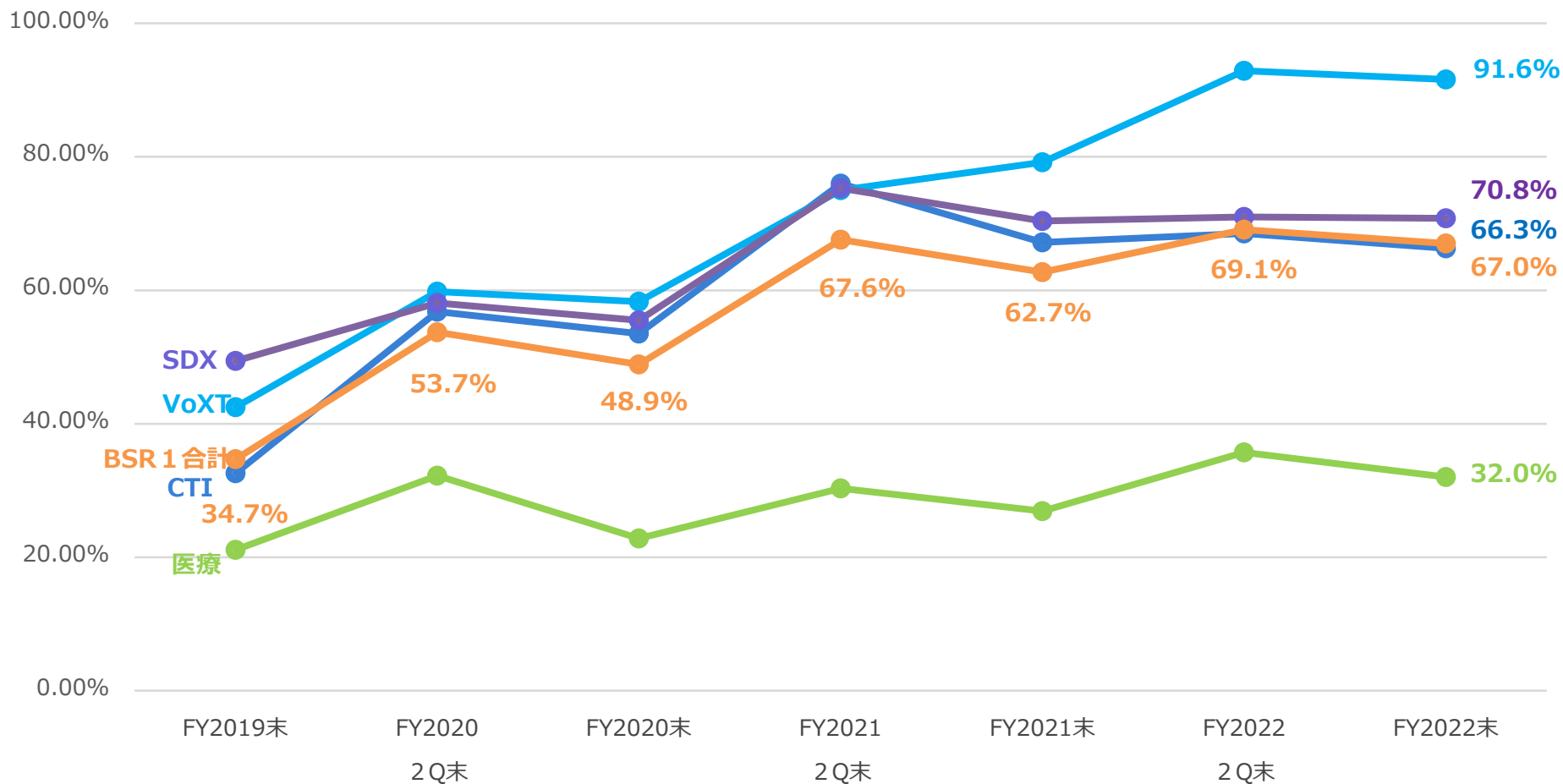
BSR1 (第一の成長エンジン) CTI事業部及びVoXT事業部が増益し前期比25.4%の増益
BSR2 (第二の成長エンジン) ビジネス開発センターが増益し赤字幅が縮小
当社グループ全体では、前期比31.3%の増益で過去最高の営業利益

コスト構造

単位：百万円



ストック比率の推移 (BSR 1)





2.市場環境



Advanced Media, Inc.



音声認識市場（予想）

音声認識市場

2025年度において2022年度比約**1.87倍**^{注)}

2021年度から2026年度の**CAGRは23.6%**との市場予測^{注)}

注) 出典:ITR「ITR Market View:AI市場2022」

※ベンダー売上金額を対象とし、3月期ベースで換算。2022年後以降は予測値。

分野別の概況

コンタクトセンター（CTI事業部）

(参考) 当社CAGR 11.6%
(FY2020～FY2022)

- 人手不足、生産性向上、コンプライアンス、などから需要は引き続き旺盛と考えている
- 在宅コンタクトセンターという新たな需要有
- 導入率が低い中小規模での導入余地有

議事録（VoXT事業部）

(参考) 当社CAGR 20.0%
(FY2020～FY2022)

- 生産性向上から会議の文字化需要は引き続き旺盛と考えている
- リモートワークの推進により、WEB会議の文字化という新たな需要有

医療業界（医療事業部）

(参考) 当社CAGR -1.5%
(FY2020～FY2022)

- コロナ禍の影響を受けマイナスとなる
- 今後は、病院でのIT化の見直しや、2024年度に医師の残業時間の上限規制があり、需要が伸びるものと考えている
- オンライン診療など新たな需要有

建設業界（ビジネス開発センター）

(参考) 当社CAGR 18.1%
(FY2020～FY2022)

- 人手不足、生産性向上などの背景から、建設業の各社でDXを推進しており、需要は引き続き旺盛と考えている

CAGR：当社実績

音声認識市場のシェア

音声認識 No.1

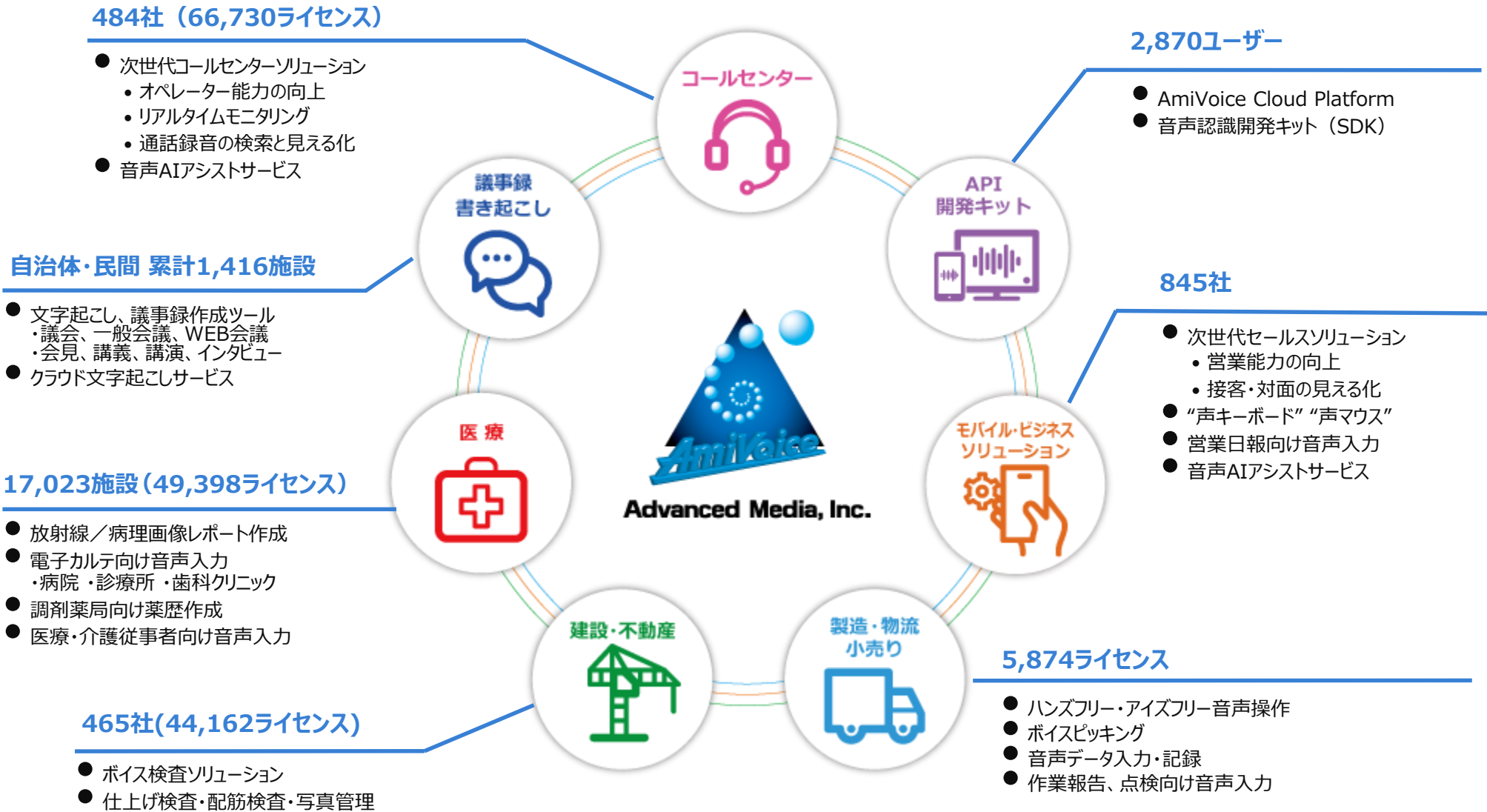
※出典：ecarlate「音声認識市場動向 2023」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場



※出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2023」

音声認識市場開拓のこれまで

※2023年3月現在





3.競争力の源泉



競争優位性①

AI音声認識 AmiVoice®



豊富な 導入実績

2万件以上の利用実績に基づく、多様なビジネスシーンのデータを集積。豊富なソリューションをラインアップ。

高い認識率

常に最先端の技術を研究し、最新のディープラーニング技術を実装。業界随一の高い認識率を誇ります。

自然な 話し言葉の 認識を実現

発話スピードやイントネーションへ柔軟に対応。日常会話のような、自然で長い発話でも高い認識精度を実現します。

幅広い業種と 専門用語に 対応

幅広い業種の専門用語に対応する音声認識エンジン。個別カスタマイズも可能です。

競争優位性②

AI音声認識
AmiVoice®

AI音声認識マーケットをリードしていく**市場創造力**

各業界に精通している**パートナーとの強固な連携**

AI音声認識に関する知見・経験が豊富な**販売力**

AI音声認識に特化した**アプリケーション開発力**

AIなどを用いて価値を増幅させる**応用技術開発力**

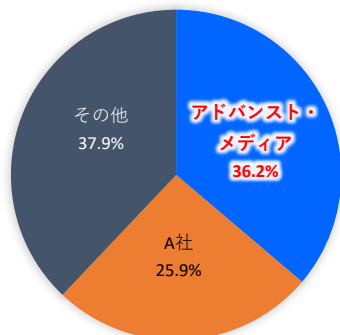
AI音声認識をアップデートし続ける**基礎技術開発力**

これらの競争優位性が音声認識市場でのトップシェアに繋がっている

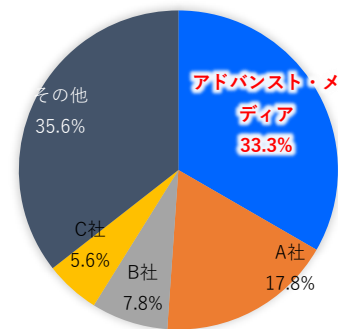


※出典：合同会社 ecarlate 「音声認識市場動向 2023」

音声認識クラウドサービス市場：
メーカー別市場占有率



音声認識ソフトウェア市場：
メーカー別市場占有率



※出典：合同会社 ecarlate
「音声認識市場動向2023」
2022年度見込み



4.事業計画



Advanced Media, Inc.



計画と実績の差異について①

1. FY2022の計画と実績の差異について

(単位：百万円)

	計画	実績	差異	主な要因
売上高	5,000	5,180	+180	・プラス要因：CTI事業部の大幅な超過 ・マイナス要因：医療事業部、SDX事業部、子会社のアマタイが予算未達
営業利益 営業利益率	1,000 20.0%	1,080 20.8%	+80 +0.8%	・売上高の超過

2. 中期計画の見直しについて

(単位：百万円)

		前回計画	今回計画	差異	主な要因
BSR拡大期 FY2023	売上高	6,500	6,000	△500	医療事業部の減収減益、SDX事業部や子会社のアマタイの計画未達の実績を踏まえ、計画を見直す
	営業利益	1,600	1,200	△400	売上高の計画値の低下
BSR拡大期 FY2024	売上高	8,000	8,000	±0	P30、31の主要施策に記載した製品・サービスの導入を進めるとともに、新規ビジネスなどをプラスすることで、計画は維持
	営業利益	2,200	2,200	±0	上記のとおり
BSR拡大期 FY2025	売上高	10,000	10,000	±0	P30、31の主要施策に記載した製品・サービスの導入を進めるとともに、新規ビジネスなどをプラスすることで、計画は維持
	営業利益	3,000	3,000	±0	上記のとおり

※ 前回計画：2022年6月30日開示「事業計画及び成長可能性に関する事項」

計画と実績の差異について②

3. BSR 1 の計画と実績の差異について

(単位：百万円)

		前回計画 (連結調整前)	今回計画 (連結調整前)	差異	主な要因
BSR拡大期 FY2023	売上高	5,270	5,150	△120	医療事業部の減収減益、SDX事業部の予算未達の実績を踏まえ、計画を見直す
	営業利益	1,423	1,200	△223	一部、戦略的な販管費増を見込み、計画を見直す
BSR拡大期 FY2025	売上高	7,370	7,370	±0	計画は維持
	営業利益	2,448	2,432	△16	事業進捗に合わせ若干の見直しをしたもののほぼ計画は維持

4. BSR 2 (その他：+α) の計画と実績の差異について

その他：+α：AI連携（AISH）、音声コミュニケーションGPTプラットフォーム（AGP）、M&Aなどを含む新規ビジネスによるプラス貢献

(単位：百万円)

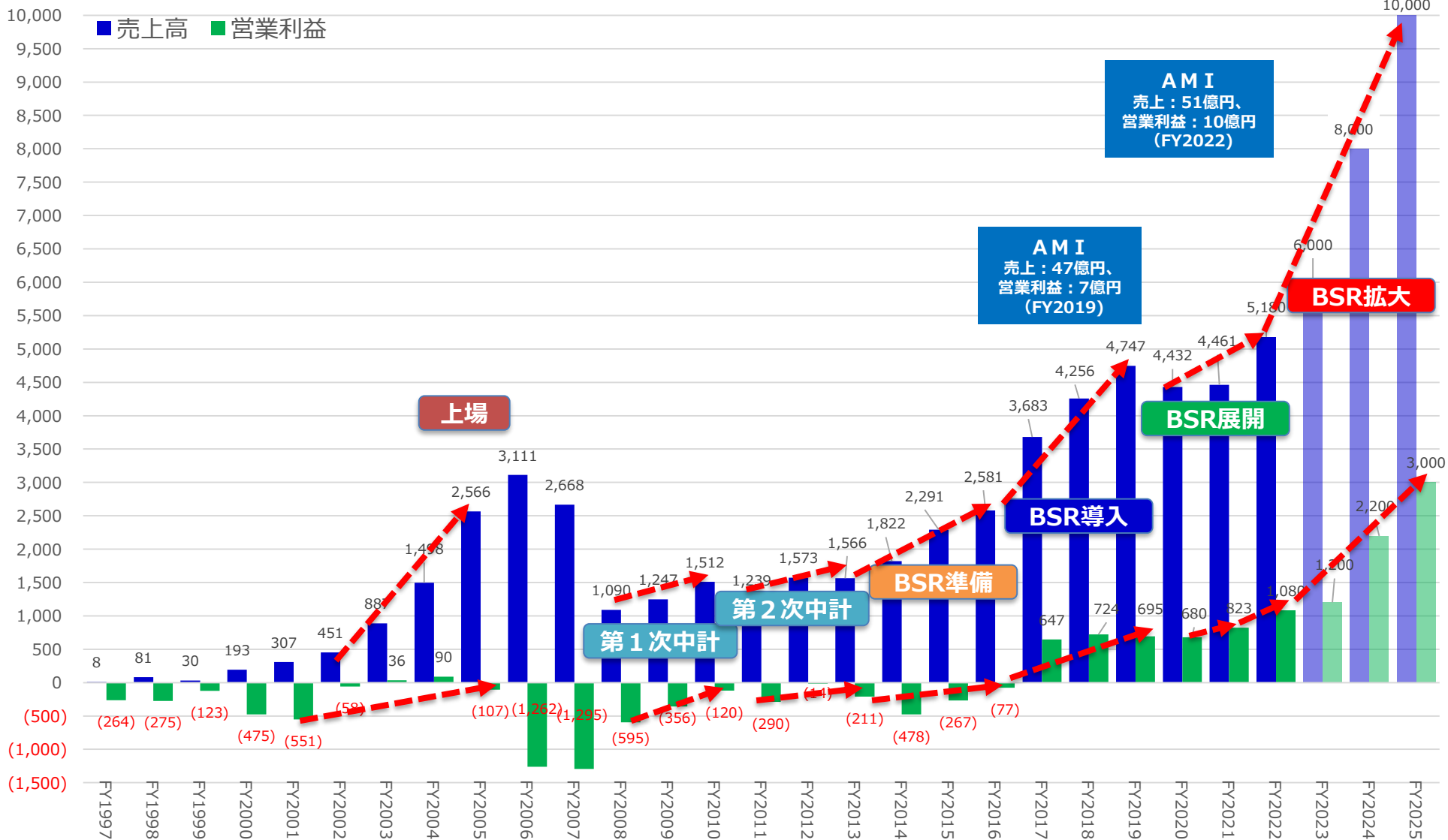
		前回計画 (連結調整前)	今回計画 (連結調整前)	差異	主な要因
BSR拡大期 FY2023	売上高	1,020	902	△118	子会社アミタイの予算未達の実績を踏まえ、計画を見直す
	営業利益	61	黒字化		上記のとおり
BSR拡大期 FY2025	売上高	1,850 (780)	1,443 (1,187)	△407 (+407)	子会社アミタイ、子会社つくばの事業の進捗実績を踏まえ、計画を見直す
	営業利益	318 (234)	289 (279)	△29 (+45)	上記のとおり

※ 前回計画：2022年6月30日開示「事業計画及び成長可能性に関する事項」

AMIグループの業績推移とこれから

AMI
売上：100億円、
営業利益：30億円
(FY2025)

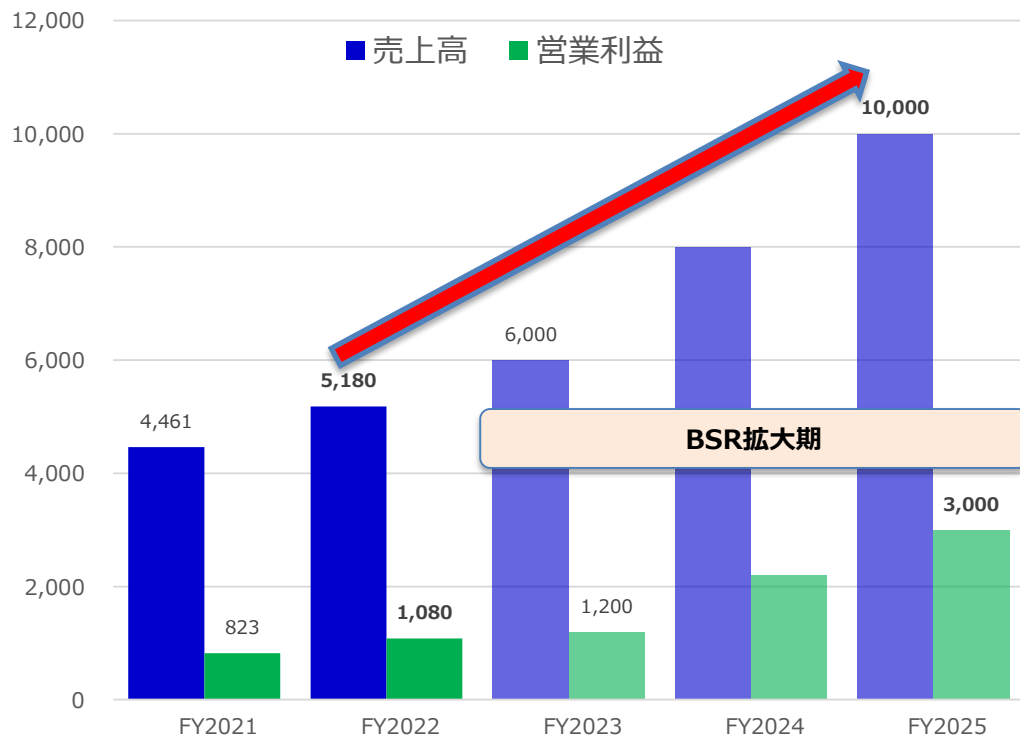
(単位：百万円)



今後の見通し（中期計画）

音声認識市場

2021年度から2026年度のCAGRは23.6%との市場予測^{注)}



BSR拡大期において

(2024年3月期から2026年3月期)

2026年3月期の目標値

売上高で100億円

(2023年3月期比1.93倍)

営業利益で30億円

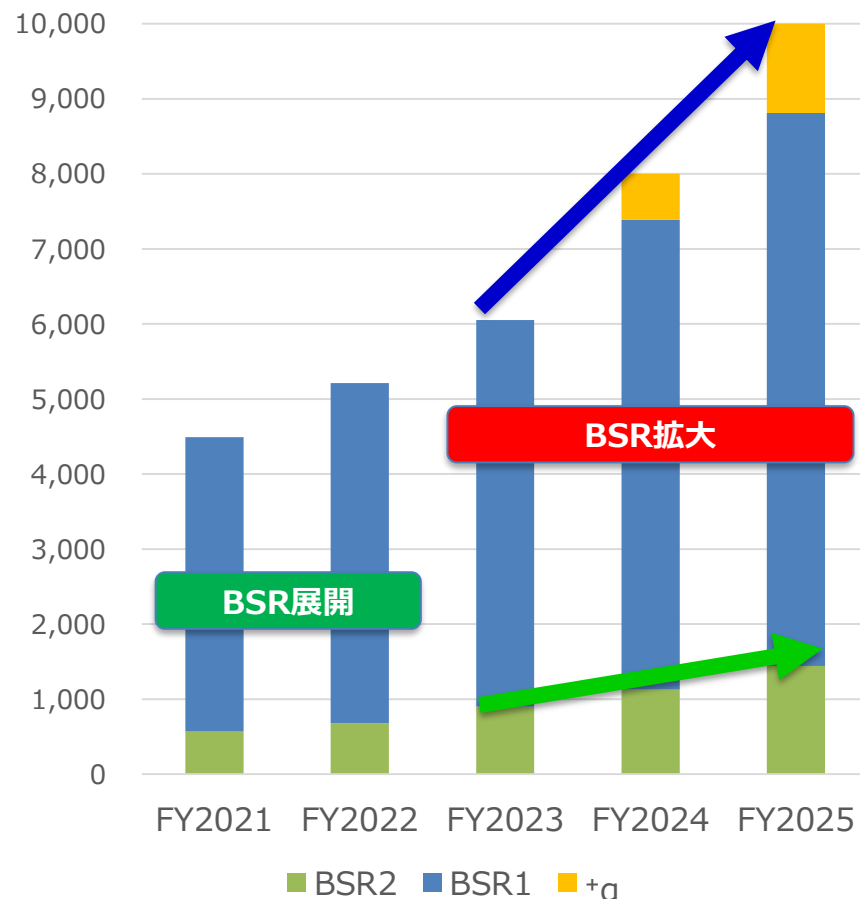
注) 出典:ITR「ITR Market View:AI市場2022」

※ベンダー売上金額を対象とし、3月期ベースで換算。2022年後以降は予測値。

BSR 1・BSR2の計画

(単位：百万円)

売上高



営業利益



※ +α：AI連携（AISH）、音声コミュニケーションGPTプラットフォーム（AGP）、M&Aなどを含む新規ビジネスによるプラス貢献

主要施策の進捗

(1) 音声の文字化「声で書く」に
音声コミュニケーション「声で動かす」を付加

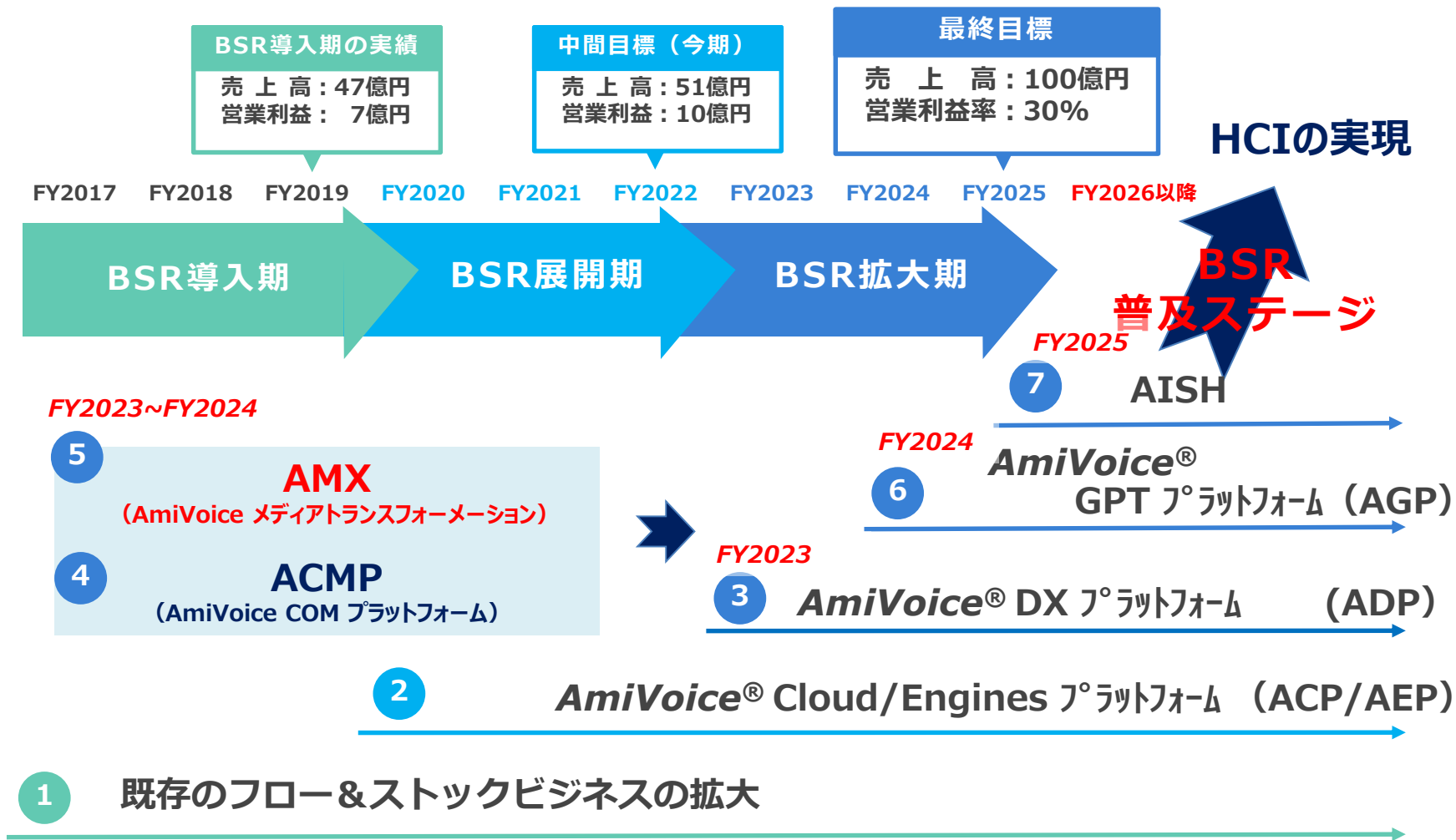
(2) 顧客のデジタルトランスフォーメーション (DX) に寄与
するスピーチDX (SDX) の市場投入

顧客のDX化を促進するスピーチDXのプラットフォーム「**AmiVoice**® DX Platform (ADP)」の市場導入として、キーボードやマウス操作の効率化に資するアプリケーション“声キーボード”「**AmiVoice**® VK」及び、“声マウス”「**AmiVoice**® VM」シリーズを医療、官公庁、一般企業向けへリリースを開始しました。

(3) AIアプリケーションやAIサービス向けの
音声コミュニケーションAIプラットフォームの市場投入

ソーシャルVRアプリ「VRChat」のメタバース空間上で利用できる、AI音声対話アバターの取り組みは国内で初めてとなる、AI音声対話アバター「AI Avatar AOI (エーアイ アバター アオイ)」を開発しました。

BSR3x3・中期計画（展開から拡大へ）



BSR3x3・中期計画（展開から拡大へ）

アミボイスプラットフォーム

6

AGP
AmiVoice® GPT Platform

大規模言語モデル適用の先行体験、蓄積データやノウハウなどを活用した当社ならではのGPTプラットフォームを市場投入する予定

5

AMX
AmiVoice® Media X Platform

Webサイトなど情報を提供するメディアの情報媒体価値を増幅させるメディアトランスフォーメーションプラットフォーム
Webサイトから商談へつなげる「AmiVoice UPV」などのメディアトランスフォーメーション製品をプラットフォーム化する予定

4

ACMP
AmiVoice® Communication Platform

商談や接客、コンタクトセンターなどでの対応など顧客とのコミュニケーション（会話）の能力向上支援のプラットフォーム
コンタクトセンター向け「AmiVoice Communication Suite」や商談向け「AmiVoice SF-CMS」などの製品をプラットフォーム化する予定

3

ADP
AmiVoice® DX Platform

DX化を促進するアミボイスDXプラットフォーム
“声キーボード”「AmiVoice VK」と“声マウス”「AmiVoice VM」など

2

ACP/AEP
AmiVoice® Cloud Platform
AmiVoice® Engines Platform

自社のサービスや製品に音声テキスト化や音声入力を実装したい企業、開発者向けにアミボイスエンジンを提供
(URL : <https://acp.amivoice.com/>)



5. リスク情報



Advanced Media, Inc.



リスク情報


成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識している主要なリスクは以下の通りです。その他のリスクについては、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

項目	発生可能性 ／時期	概要（抜粋）	対応策
業績の変動について	中／常時	音声認識市場の展開・拡大の遅延、外部環境の変化等、当社が想定できない諸般の要因で、当社の事業が計画どおりに進捗しなかった場合には、想定している経営成績に影響する可能性があります。	「4. 事業計画」の中期計画・施策を進めるとともに、市場（外部環境）の変化に俊敏に対応してまいります。
音声認識市場創造が遅延すること	中／中長期	音声認識市場における事業創造および事業展開を行ってまいります。市場創造が予想どおりに行えず、長い時間を要する可能性もあります。	「4. 事業計画」の中期計画・施策を進めるとともに、市場（外部環境）の変化に俊敏に対応してまいります。
新製品及び新技術の開発	中／中長期	現在、音声認識の基礎的な開発は終了し、既に様々な商品を販売しておりますが、今後とも技術の革新と向上が必須です。当該開発に資金や時間が想定以上に必要となった場合、当社グループが想定する売上計画が達成できなくなり、先行的に支出された研究開発費等の回収が困難になった場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。	中期計画に対して、適切な研究開発費を設定するとともに、研究開発費の内訳について選択と集中をすることで適切にコントロールしてまいります。

リスク情報

項目	発生可能性 ／時期	内容（抜粋）	対応策
音声認識技術に代替する新技術の誕生	低／不明	音声認識技術に代わる新しいインターフェース等の誕生、普及により、当社の技術優位性がなくなる等、当社が明確な競争優位性を確保できなくなった場合には、当社グループの経営に影響を与える可能性があります。	音声認識技術に関連する技術動向を、基礎技術部門でフォローし続けるとともに、当社も様々な新技術に対するの研究を進めてまいります。
競合他社について	中／不明	現時点では当社の製品は、国内外の競合他社の製品と差別化されると考えておりますが、将来的に高い技術力および開発力を有する競合企業が出現することは否定できず、競争の激化によって当社の優位性が失われた場合、また、競合他社が他の有望な音声認識市場を創造開拓し、当社グループが後塵を拝した場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。	音声認識技術に必要な音声や言語のデータの収集をし続けるとともに、技術革新をし続け、競争力の維持をし続けてまいります。 と同時に、他社の技術レベルを常に把握し、部分的に劣っている箇所のキャッチアップを常にしてまいります。

注) 「5. リスク情報」については、当社株式の投資に関する全てのリスクを網羅したものではありません。

- 
- 次回の本資料の開示は、2024年6月を予定しております。
 - 本開示には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。



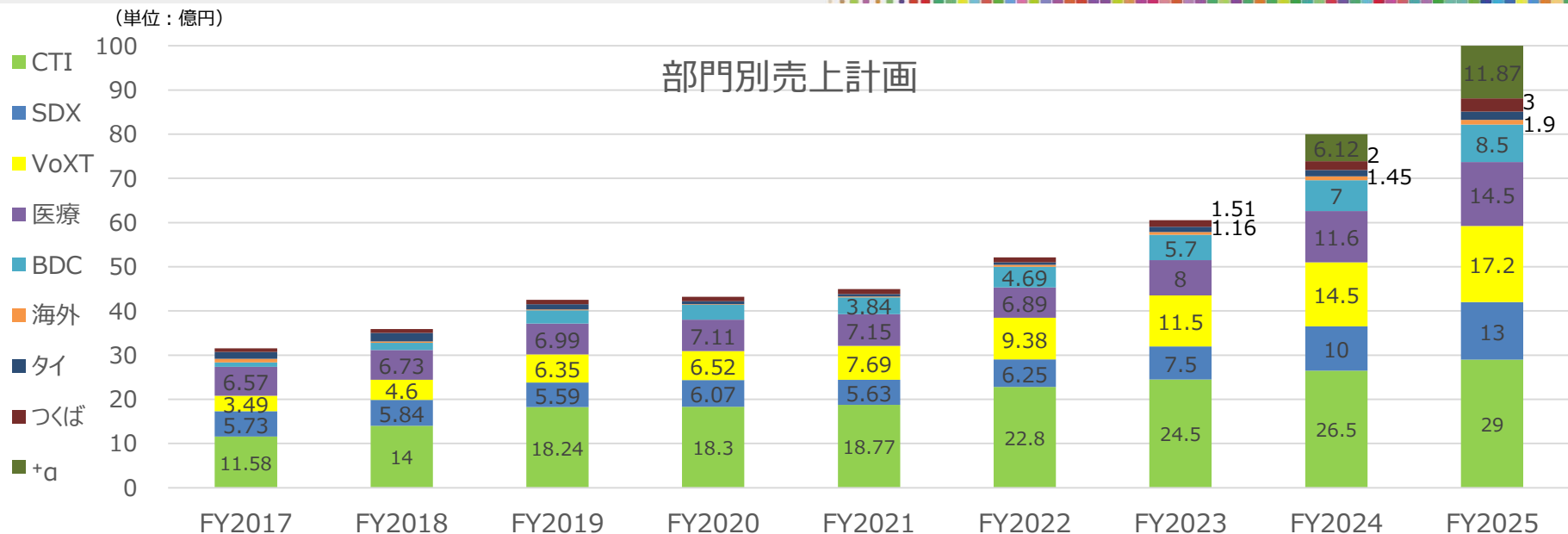
参考資料



Advanced Media, Inc.



部門別売上計画



	BSR1					BSR2					+a ※	全体計 (連結調整前)
	CTI	SDX	VoXT	医療	小計	BDC	海外	タイ	つくば	小計		
FY2017	11.58	5.73	3.49	6.57	27.37	0.96	0.81	1.56	0.82	9.68	-	37.05
FY2018	14.00	5.84	4.60	6.73	31.17	1.58	0.33	1.92	0.87	11.63	-	42.79
FY2019	18.24	5.59	6.35	6.99	37.16	2.96	0.19	1.22	0.99	10.94	-	48.10
FY2020	18.30	6.07	6.52	7.11	38.00	3.37	0.17	0.67	0.96	6.77	-	44.77
FY2021	18.77	5.63	7.69	7.15	39.24	3.84	0.20	0.54	1.11	5.69	-	44.93
FY2022	22.79	6.24	9.38	6.88	45.31	4.69	0.40	0.56	1.16	6.81	-	52.13
FY2023	24.50	7.50	11.50	8.00	51.50	5.70	0.65	1.16	1.51	9.02	-	60.52
FY2024	26.50	10.00	14.50	11.60	62.60	7.00	0.83	1.45	2.00	11.28	6.12	80.00
FY2025	29.00	13.00	17.20	14.50	73.70	8.50	1.03	1.90	3.00	14.43	11.87	100.00

実績値: FY2017 - FY2021
目標値: FY2022 - FY2025

※ +a : AI連携 (AISH)、音声コミュニケーションGPTプラットフォーム (AGP)、M&Aなどを含む新規ビジネスによるプラス貢献